

＜学校名＞ 日高市立武蔵台小中学校

＜所在地＞ 日高市武蔵台5-1-1

＜電話＞ 042-982-2221

＜本事例の特徴＞

オンラインの交流授業を通じた異文化コミュニケーションによって、児童が学習した表現を実際に使える場面を設けるとともに、海外をより身近に感じることができた。

＜具体的な取組や成果＞

1 ○海外の人に対してどのような自己紹介をしたいか決め、表現を練習する

- ・5年生では自分が使える英語の表現で、自己紹介を練習した。相手によりわかりやすく伝えるために、学習用タブレット端末を用いて、相手に見せるためのスライドも作成した。また、繰り返し発音の練習をし、AETを相手に確認を行った。

○児童がオンラインで相手の学校の生徒に伝えた内容

Hello. My name is ○○. / I like ○○. / Thank you for listening.

- ・交流先の児童にも同じ内容で自己紹介をしてもらい、共通点や違いを見つけられるように設定した。また、ネイティブの英語を聞き取ることができたことで、英語への興味・関心を高め、自信をつけることができた。

2 ○オンラインで現地の学校とつながる

- ・オーストラリアの小学校との交流では、それぞれの児童が一人一人短い自己紹介を行った。児童は海外の小学生との違いと共通点を見つけて、親近感を抱いていた。また、児童は自分の英語が相手に伝わっているのを見て、海外の国を身近に感じることができた。



【オンライン用のモニターとパソコン】



【自己紹介をしている様子】